

平成26年度 堺市障害者自立支援協議会 第10回 障害当事者部会

議事概要

日時	平成27年2月25日(水) 14:00~16:00
場所	堺市総合福祉会館 5階 第2研修室
出席者 (敬称略)	茅原、白石、辻本、席田、野崎、川淵、松本、丸野、梅田、前田、三田、吉村
欠席者 (敬称略)	谷口
支援者	ボランティア1名
事務局	【堺市障害施策推進課】森、加唐、杉本
事務局補助	【総合相談情報センター】黒木、小出
傍聴	1名

● 当事者部会交流会の振り返り

【部会長から】

- 1月28日に実施した当事者交流会について、報告書を事務局にまとめて貰った。
- 委員から交流会の感想をお聞きしたい。
- 2月27日に開催される市協議会に資料提出する予定。
- 来年度も開催するかどうか、意見を聞きながら検討していきたい。
- P4 交流会実施報告書を読み上げられた。

【委員から】

- シャベっていない人が居なかったと思う。
- 見えない障害という部分あって、すごく生活のし辛さや理解されない。自分の主観以上に周りの気付きというのがなく困っておられた。
- 見えない障害というか、内部障害の方が多いグループだった。親戚は、障害の名前は知っているけど、特性が分からない。親戚でも分かってくれない。作業所に行っているが、作業所の人しか分かってくれていないのかなという意見があった。世の中出るとしんどいのかな。
- 案外、親類の方が(関係が)薄い。世間の方がマシだと思う。(親戚は)身近なので余り認めたくないというのもあるかも知れない。
- 精神障害当事者が、ある病院で出産したいと申し出たが、精神科を併設していないとの理由で拒否され、別病院で出産したことがあった。もし、何かあったときのことと思うが、ちょっと違うだろうという側面もある。
- 精神障害は具合が悪くても顔に出ないこともある。作業所間くらいだったら、あうんの呼吸で、調子が分かるのだが。
- 隣のグループの声が入ってきて聞こえ辛かった。大人しい方が、ささやくように話されるので、聞こえなかった。もっとグループ同士を離れた方が良いのでは。
- 孤独を感じる。社会参加できる場に出たい、ボランティアしたいと意見もあった。

- 普段、我々が接していない当事者との交流ができた。
- 何から話したら良いか、切り出しが難しかった。テーマが漠然としていた。
- 制度の話が多かった。制度に凄く詳しい人が居た。
- こうやって堺市で集まって、話し合いをしているとは知らなかった。また交流会に参加したいとおっしゃっていた。
- 普段、作業所のミーティングでは仲間内でしか話せないけど、今回の交流会のように初めて会った人の前で発表できたということが、凄く嬉しかったとの意見があった。

【部会長から】

- 今日、出して貰った意見やアンケート結果を踏まえて、来年度も当事者交流会を開催するかどうか話し合いたい。
- 当事者交流会の実施報告書を、次回（2月27日開催）堺市障害者自立支援協議会に、資料提出し、委員に報告する。

【委員から】

- 当事者交流会を始めた理由は、当事者部会委員公募の際に、委員になれなかった人達の意見も聞きたいという趣旨で開催した。2回目は、グループホーム利用者の意見を集めようとテーマを設定することもあった。その後は、当事者部会の意見だけではなく、他の障害者の当事者の意見を聞きたいという趣旨で開催していた。今後も堺市での当事者の生の声を聞きたい。その機会を当事者部会で作るべきかなと思う。
- 意見を聞いて、それを今後どう活かしていくかは、これからの課題かなと思う。年代を重ねていくと、意見も異なってくるし、聞いていくのは、続けていかないとあかんと思う。
- 2時間は少ないと思う。年に2回は開催したいと思うが、それは難しいので、年1回は開催したいと思う。
- アンケートにも「良かった」という意見もあるし、年1回は、当事者が意見を言える場を設けるのは良いと思う。
- 今回は、テーマ設定が難しかったかもしれない。私のグループではヘルパーを利用していない人もいて、「支援のあり方」よりも「作業所の人間関係のこと」、「働く上でしんどいこと」、「働いていてどうやった」など、今回のテーマとは違うことが多かったが、それはそれで良いと思う。
- 堺では、精神障害者が集まって話せる場（セルフヘルプグループ）はあるが、障害枠を超え、当事者同士が話せる場が無いので、このような場を企画していかないといけないと思う。当事者部会が、毎年絶対に行わないといけないとは思わないが、当事者の意見を聞くことは大事だと思う。
- 堺区協議会で作業所が中心で、当事者交流会が行われているが、区協議会と当事者部会でおこなう交流会の違いを今後考えて行かないといけないと思う。
- 当事者部会で交流会をおこなう意味合いっていうのはあると思う。我々にとって有意義なことと、参加者にとって有意義なことがある。どちらにとっても、「来て貰って良かった」、「来て良かった」と思われることが1番だと思う。当事者部会から1番大きいのは当事者部会の宣伝だと思う。当事者に知られていない。当事者にいかに知って貰うか。それが、次の当事者部会に繋がっていくと思う。そのためにも一年に一回はしなとといけないと思う。やらない意味がないと思う。我々もずっと、当事者部会委員を続けていけるわけではないので、次の当事者部会委員を育てていくことも意識しな

がらやっていくことも必要かなと思った。

- ・障害福祉の関係の仕事をしていたが、委員募集の広報を見て初めて当事者部会のことを知った。家庭・職場などでは言えなくても、当事者交流会では言えることもあると思う。まだまだ言いたい足りない人もいると思う。皆との交流でパワーを貰えることもある。是非続けて欲しい。
- ・私自身もまだまだ分からないことがあって、自分とまったく違う障害の事の見聞を聞いたりできるし、この間まで参加者の立場だったし、交流会のような機会を今後も作って欲しい。
- ・皆さんに負担がなければ、私も次年度も交流会を開催したい。
⇒・欠席の委員が1名いるが、今日出席の全委員が「次年度も開催する」との意見が一致したため、次年度も交流会を開催することとする。開催日については、3月の当事者部会で検討することとする。

● ブログについて

- ・ブログの画面をプロジェクターで映し、確認した。

● その他

【部会長から】

- ・元委員からのメール（これから想定される大地震などの災害に備えて、災害時に障害者がどんな手助けをして欲しいかは、当事者でないといふと解りにくいので、当事者部会で議論して欲しいこと）を報告された。

【委員から】

- ・今の生活でもそうだが、特に災害の時には理解されにくい。
- ・災害時は、皆は自分で精一杯。
- ・当事者部会として出来ることは啓発やブログで発信など。
- ・阪神大震災のときに、親族と連絡が取れなくて家族がとても不安になることを痛感した。
- ・3月11日に東日本大震災関連のイベントのライブが堺市役所前で行われる。
- ・阪神大震災の時は、初めて大きな災害を経験したので、当時は混乱したけど、東日本大震災の時は、その経験が反映されたところもあると思うが、常に自分の事として忘れないでおく必要がある。自分で自分を守るという部分もあると思うが。
⇒・防災については、継続して話し合い考えていくことを次年度も盛り込む必要がある。当事者交流会でもこのようなテーマを取り上げて良いかも知れない。

【部会長から】

- ・「平成26年度障害当事者部会 まとめ（案）」を作成させて貰ったので、来月の当事者部会までに読んできて貰って、次回、内容を検討したい。かなり割愛した部分もあるので、皆さんの意見を次回お聞きしたい。当事者部会交流会の部分に「来年度も開催するかどうか、～検討して行きたい。」と記載があるが、「来年度も開催する」と修正を行う。

【事務局から】

- ・委員公募につき、3月13日（金）に面接を行う予定です。

【部会長から】

- ・区協議会に、傍聴などで参加して貰えればと思う。（各区によって協議会のやり方が異なるので、参加できるかどうかは各区によって違う。）

・情報交換

【三田会長から】

- ・2年ほど前に当事者部会に視察にきた茨木市が当事者部会を今年4月から立ち上げることになった。完全公募で行い、11名でスタートした。障害種別は堺市と同じ。今後交流ができたらと思う。

● 次回 障害当事者部会 当事者交流会

- ・3月25日（水）14：00～16：00 堺市総合福祉会館 5階 第3研修室B